

(書式 2 - 3 - 1)

扶養義務者の指定を求める調停申立書

家事調停申立書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所 御中

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 〇 〇 〇 〇 印

扶養義務者指定調停申立事件

1 当事者の表示

別紙のとおり

2 申立の趣旨・実情

別紙のとおり

貼用印紙額

金〇〇円

予納郵便切手

金〇〇円

当事者の表示

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申 立 人 〇〇〇〇

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

本 籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

相 手 方 〇〇〇〇

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

申 立 の 趣 旨

相手方を申立人の扶養義務者と指定し、相手方は申立人に対して扶養料として1か月金〇〇〇〇円を支払う。

との調停を求めます。

申 立 の 実 情

1 申立人は、申立人の配偶者（夫）が平成〇〇年〇〇月〇〇日に急逝したため、現在、住所地において1人で生活をしています。申立人と亡夫の間には、2人の子供がいます。

2 申立人の長男は、事故によって身体が不自由となり福祉の世話になっています。申立人の二男は、亡夫の遺産のほとんどを相続し、現在、会社に勤務しながら、妻と子供1人の3人で生活していますが、亡夫の残した賃貸住宅の家賃収入もありますので、申立人の扶養する余裕は十分にあります。

よって、申立人は、相手方の扶養を受けるために本申立に及ぶ次第です。

添 付 書 類

戸籍謄本

2 通 （申立人分・相手方分）

以上

解説

（申立の趣旨）

本案件は、母親が子供の 1 人に扶養を求めるケースです

（申立の実情）

- 1 申立人が扶養を求めるにつき、自分の生活状況を説明したものです。
- 2 直系血族、兄弟姉妹は扶養の義務を負います（民法第 877 条第 1 項）。

本案件では、申立人には 2 人の子供がいますが、事情があって長男に求めることが難しいために、二男に扶養を求める内容となっています。

